

~~~~~新年ご挨拶~~~~~

学園東町連合自治会長 奥浦小司

新年、明けましておめでとうございます。皆様、健やかに新年をお迎えのことと存じます。確か昨年のこの時には、コロナが収束して我々の日常生活がコロナ前になることを願っていたかと思えます。1年後の今、ワクチンの接種効果で収束に向かっている処へ、またオミクロン株という新たな株が出現、風雲急を告げています。

昨年は、連合自治会として7月・8月には東町公園と湯屋ヶ谷公園で総勢約500名の小学生の皆さんと朝6時半からのラジオ体操、9月には広報誌《学園東町だよりNo.43》を発行、11月には防災訓練そして学園東町ホームページを刷新、12月には第20回学園東町クリーン作戦を実施することが出来ました。唯一、緊急事態宣言により敬老会が2年連続開催が出来ず記念品の配布の形となってしまったことは残念でなりません。

そして迎えた2022年の干支は「壬寅(みずえのとら)」で、厳しい冬を超えて、芽吹き始め、冬が厳しければ厳しい程生命力に溢れ、華々しく生まれるという意味を持ちます。文字通り、コロナの収束とコロナ後の新しい日常の形がどんどん生まれて来る年になる事を期待しています。

折しも2月14日には、西神中央に区役所が移転してくることで今迄にない街の充実が見られると考えています。そこで、我々が住む神戸研究学園都市は、これ程の自然・社会科学系の教育機関が集まっている街は他にありません。地域活動の観点からもこれら教育機関惹いては学生の皆さんとの交流・協同を通じて尚一層の地域の活性化を図ろうと考えています。

本年も引続き地域活動へのご理解とご協力を心から宜しくお願い申し上げます。